

54 自然環境にやさしい工法を施工した福田地区復旧治山事業 長崎県（長崎市）



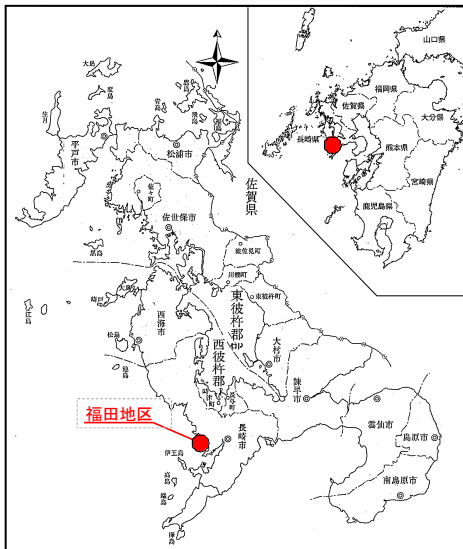
地山補強土工の施工イメージ
【参考：他現場での施工状況】



全景（平成18年撮影・事業実施後8年経過）



林内の状況（平成18年撮影）



- 所在場所
長崎県長崎市福田本町
- 施設・工法の概要
地山補強土工 A=6,950m²
- 解説

山腹斜面での治山対策としては土留工や法砕工などが挙げられますが、施工にあたっては樹木の伐採を伴うため、寺社など樹木の伐採が制限される地域での治山対策の実施には苦慮していました。そこで、樹木の伐採を少なくし、かつ樹木の根系が持つ土砂固定機能を生かした工法として考案されたのが地山補強土工であり、福田地区での施工が全国で初めての事例となりました。

この工法を採用することで樹木の伐採は最低限で済み、景観面で優れているだけでなく、完成後の植生回復も従来と比較して早まり、樹木の根系としっかり連携しながら山腹崩壊防止機能をしっかりと保っています。

現在では全国各地にこの工法が普及し、施工実績が年間約10万m²を超えるなど、山腹工における主な工法の一つとなっています。